

① 石敢当 (いしがんとく ^{かんとうせき} せきがんとく、敢当石ともいう)

石敢当とは、中国発祥の魔除けの石標。県内でも数十基確認されており、ここの石敢当は市内で最大と考えられます。近くには土に埋もれている頑固者の石敢当も! T字路の突き当たりによく設けられているので、みんなも探してみよう。



② 立派な蔵

明治期の蔵と推定。昔は内蔵形式で、家財などを収める蔵でした。



③ あきた文学資料館

秋田ゆかりの文学資料の保存を目的に、研究者や作家たちから資料を収集し展示。ここで「あきた文学マップ」を手に入れて、文学の軌跡をたどってみよう。開館時間: 10時~16時。休館日: 月曜日、年末年始、特別整理期間。秋田駅から徒歩約10分。



④ 千秋美術館

国内外の優れた作品による企画展と、秋田ゆかりの作家の収蔵品を中心とした常設展を開催。岡田謙三記念館を併設。アトリオンビル1階仲小路側が入口です。開館時間: 10時~18時。休館日: 年末年始、2月最終、9月第1土日。秋田駅から徒歩約5分。

⑤ アトリオン

あきた県産品プラザ、音楽ホール、飲食店などが入っている秋田総合生活文化会館。アトリオンの吹き抜けには巨大なモビールがつり下がっています。

⑤ お茶の辻吟

日本茶や茶器・秋田焼等を販売。昭和初期の建築ですが、通り土間など江戸期の秋田型町家の形式を受け継いでいます。店舗のうしろにある蔵は、明治期の建築。

⑥ 立派な蔵

⑥ 鐘楼

毎日午前7時と午後9時に鳴らしている鐘。寛永16年(1639)、2代藩主佐竹義隆が城内二ノ丸の一角に鐘楼を設置したのが始まりとされ、明治25年(1892)現在地に建設されました。昭和18年(1943)に、太平洋戦争により供出されましたが、同23年「平和の鐘」として復活。しかし同43年に鐘楼の老朽化等の理由により廃止。現在の鐘は同48年に復活したもので、家臣の末裔が今も時鐘を撞き続けています。



⑦ 秋田県立美術館

「秋田の行事」をはじめとする平野政吉美術財団所蔵の藤田嗣治作品を展示するほか、企画展を開催しています。

県民の制作活動を紹介する県民ギャラリーを併設。開館時間: 10時~18時。休館日: 不定休。秋田駅から徒歩約10分。



⑧ 長坂門の礎石

ここは「長坂門」という門があった場所。千秋公園はもともと江戸時代の藩主佐竹氏の居城でした。千秋公園には、今でも城の名残がたくさんあり、かつて門があったところには門の柱の下に据えていた礎石が残っています。長坂門だけでなく、城跡のいろいろな所によく似た礎石があるので、探してみよう!

⑨ 佐竹史料館

佐竹氏関連の史資料を展示するとともに、秋田の藩政時代を紹介。初代義宣公の素顔は不明ですが、館内にある義宣公のお面から覗く目は美男子!?開館時間: 9時~16時半。休館日: 年末年始、展示替期間。秋田駅から徒歩約9分。



⑩ 濱乃家

このきりたんぼは絶品! 大正時代に建てられた建物も必見です。



10 おものがしらごぼんしょ
御物頭御番所



安永5年(1776)の火災後に再建されたと推定。城下一帯の警備を行う御物頭の詰所。久保田城内で旧位置のまま残る唯一の建物として貴重です。市指定有形文化財。

11 鷹の松

旭川掘替え当時の歴史を物語る保存樹。樹高8m。なんと樹齢は350年と推定されています。



12 千秋公園(久保田城跡)

近代公園の先駆者・長岡安平が初期に設計した公園。100年以上の歴史をもつ全国の城跡公園および近代公園のさきがけとして貴重です。桜の名所でもあり、秋田市民の憩いの場です。昔は公園内に動物園がありました。市指定名勝。



13 おすみやぐら
御隅櫓

高台にあり、見張り場と武器庫の役割を担っていた建物。展望台から市街が一望できます。展示されている城下町の模型は緻密で、当時の町がよくわかります。開館時間：9時～16時半。休館日：12/1～3/31。秋田駅から徒歩約15分。

14 いやたか
彌高神社

現本殿は文政2年(1819)の建立。社殿の彫刻に江戸時代後期の建築様式の特徴がよくでています。授与所にあるおみくじは必見!お金を入れると獅子舞が踊り出します。県指定有形文化財。秋田駅から徒歩約14分。



34 りんしょういん
鱗勝院の山門

山門は久保田城の裏山門といわれ、移転の際に2階が取り除かれ現在の形となりました。



15 うかのみたまのかみひ
倉稲魂神碑

荷役作業で落ちこぼれた粗米の供養碑。鹿嶋神社の向かいにある丸い池は、明治期の神社建立時に、社地を高くするため土を取ってきた池だそうです。市指定有形民俗文化財。秋田駅から徒歩約28分。



16 栖山の鹿嶋祭

7月の第1日曜日に行われるお祭り。江戸時代から続くお祭りで、鹿嶋人形で飾った鹿嶋船を、お囃子と共に子どもたちが引いて町内を練り歩きます。ご神体の般若の面がコワイ…。市指定無形民俗文化財。



17 庭に立派な松

明治期の建築と推定。庭には背の高い立派な松があります。



18 旧松倉家住宅

明治36年(1903)建築で、江戸時代後期の秋田の町家形式をよく伝えています。市指定有形文化財。秋田駅から徒歩約27分。



19 川村鐵工所

当地域は旧町名を鍛冶町と言い、江戸期には鍛冶屋さんが多く見られました。現在はこの川村鐵工所ほか数軒が残るのみ。向かいには金神様を祀る金神社が鎮座しています。

39 高堂家住宅

万延元年(1860)創業の酒店。主屋・文庫蔵・米蔵は明治期の建築。現在、「秋田轟真」として、秋田に根差し、活動する作り手の作品をライ



うかのみたまのかみひ
⑮ 倉稲魂神碑

荷役作業で落ちこぼれた
粃米の供養碑。鹿嶋神社
の向かいにある丸い池は、
明治期の神社建立時に、社
地を高くするため土を取っ
てきた池だそうです。
市指定有形民俗文化財。
秋田駅から徒歩約28分。



⑯ 栢山の鹿嶋祭

7月の第1日曜日に行われ
るお祭り。江戸時代から
続くお祭りで、鹿嶋人形で
飾った鹿嶋船を、お囃子と
共に子どもたちが引いて町
内を練り歩きます。ご神体
の般若の面がコワイ…。
市指定無形民俗文化財。



⑰ 庭に立派な松

明治期の建築と推定。
庭には背の高い立派
な松があります。



⑱ 旧松倉家住宅

明治36年(1903) 建築で、江戸時代
後期の秋田の町家形式をよく伝えて
います。
市指定有形文化財。
秋田駅から徒歩
約27分。



⑲ 川村鐵工所

当地域は旧町名を鍛冶町と言ひ、江戸期には鍛冶屋さんが多く見ら
れました。現在はこの川村鐵工所ほか数軒が残るのみ。向かいには
金神様を祀る金神社が鎮座しています。

⑳ 高堂家住宅

万延元年(1860) 創業の酒店。
主屋・文庫蔵・米蔵は明治
期の建築。現在、「秋田
轟真」として、秋田
に根差し、活動する
作り手の作品をライ



㉑ 新政酒造

銘酒新政の酒蔵。大きな
杉玉があります。嘉永
5年(1852) 創業。
日本醸造協会
で発売されている
「きょうかい六号
酵母」の発祥蔵
としても有名。こ
の酵母は安定した醸造特
性、まろやかな味、上品な香りという特徴をもち、淡麗な酒質に最
適であり、当時全国の醸造家に画期的な一大転機をもたらしました。
国登録有形文化財。



㉒ 寺町通り

久保田城下は、旭川を挟んで武家町(内町)と町人町(外町)に町
割りされていました。その城下町の西側を覆うように、寺院を集中して
建てたのがこの寺町。木々が多く、木漏れ日を浴びながら歩きたくな
る道です。昔、肝試しをした人も多いのでは？

㉓ 花京都(旧大島商会店舗)

明治34年(1901) に建築された
市内最古の煉瓦造建物。
高級雑貨・帽子など
の流行品を販売す
る県内初の百貨店で
した。今はお花屋さんです。
国登録有形文化財。
秋田駅から徒歩約
21分。



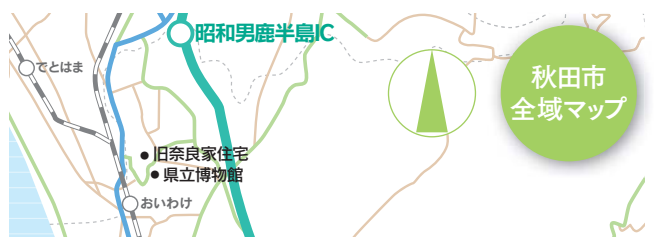
㉔ 鈴木商事

明治期の建築と
推定。妻入の町
家形式を残し、
城下町の風情が
感じられます。



㉕ 感恩講発祥地の碑

日本初の民営による窮民・
孤児救済機関「感恩講」
があった場所。那波家の8
代目当主・那波祐生が江戸
時代の文政12年(1829)に
おこしました。今で言うNPO
(民間非営利組織)のさきが
け。碑の形は佐竹家裏紋で、
源氏香の中でも花散里のデ
ザイン。





中央地区
周辺マップ

- 凡例
- 指定・登録文化財
 - 駐車場



開館時間：10時～18時。
休館日：年末年始、2月最終、9月第1土日。
秋田駅から徒歩約5分。

⑤ アトリオン

あきた県産品プラザ、音楽ホール、飲食店などが入っている秋田総合生活文化会館。アトリオンの吹き抜けには巨大なモビールがつり下がっています。

②5 お茶の辻吟

日本茶や茶器・秋田焼等を販売。昭和初期の建築ですが、通り土間など江戸期の秋田型町家の形式を受け継いでいます。店舗のうしろにある蔵は、明治期の建築。

②6 立派な蔵

もともと川尻に住む地主だった方が、平田篤胤終焉の地が荒れ果てているのを見て、その地を譲り受けて移り住みました。明治期に建てられた立派な文庫蔵が目をはきます。



②7 那波伊四郎商店倉庫

レトロな雰囲気のある倉庫。昭和10年頃の建築。ガンダムに似てませんか？国登録有形文化財。

②8 那波紙店

明治11年(1878)に現在地に創業。当時は茶・砂糖を販売。現在の建物は、明治19年の俵屋火事で家屋焼失後、同20年に土崎にあった船宿を移築したもの。国登録有形文化財。



②9 赤れんが郷土館(旧秋田銀行本店本館)

県内に残る明治時代末期の本格的な煉瓦造洋風建築。現在は赤れんが郷土館として、秋田の歴史・民俗・美術工芸に関する企画展を随時開催。木版画家の勝平得之記念館併設。国指定重要文化財。館前には秋田県里程元標跡が。開館時間：9時半～16時半。休館日：年末年始、展示替期間。秋田駅から徒歩約16分。



③0 濱乃家

ここのきりたんぼは絶品! 大正時代に建てられた建物も必見です。



③1 那波家の水汲み場

川反の各町には、「カド」と称する共用の水汲み場がありました。現在残っているのはこの水汲み場だけ。近くにあるレストラン「パンブルムウス」からの眺めは最高!



③2 北洲飯店・喰い処北洲

料亭と中華料理店。建物は昭和30年(1955)建築。ここの爆弾ラーメンは東北一辛い!?



③3 秋田の竿燈

毎年8月3～6日に行われる伝統的な民俗行事。起源は宝暦年間(1751～1764)と見られ、米俵をかたどった提灯をさげて揺れる竿の様子は、風にそよぐ稲穂を表し、豊作を祈る庶民の願望から生まれたとされます。国指定重要無形民俗文化財。





③④ りんしょういん 鱗勝院の山門

山門は久保田城の裏門といわれ、移転の際に2階が取り除かれ現在の形となりました。



③⑤ 赤れんが塀

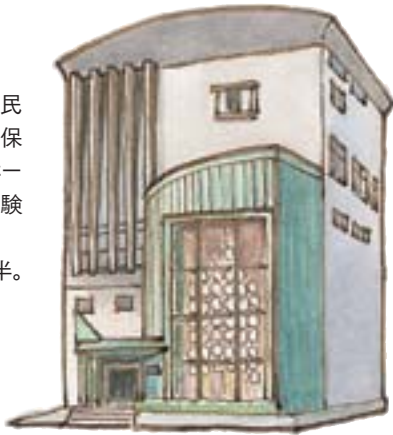
昭和39年(1964)、浄願寺境内を貫通する新しい道路がつくられた時、ちょうど道路建設場所にあった正門と両袖の赤れんが塀が取り壊されました。しかし、赤れんが塀の一部は道路の左右にまだ残っています。この塀は、秋田刑務所建設時(明治45年(1912)竣工)の余ったれんがで造ったものだそうです。

③⑥ 六道の辻

旧城下町の名残をとどめる交差点。江戸時代には3つの土手と6つの道があった場所で、敵の侵入を防ぐ役割をはたしていました。今でも6つの道を見つけることができます。平成21年まで、この場所の名にちなんだ「辻乃湯」という銭湯がありました。

③⑦ 民俗芸能伝承館(ねぶり流し館)

竿燈をはじめとする郷土の民俗行事・芸能の展示や、保存伝承のため開館。1階ホールでは、竿燈を実際に体験できます。
開館時間：9時半～16時半。
休館日：年末年始。
秋田駅から徒歩約16分。



③⑧ 旧金子家住宅

明治20年(1987)建築で、江戸時代後期の秋田の町家形式をよく伝えています。屋根の上の天水甕に注目！
市指定有形文化財。秋田駅から徒歩約16分。



①⑨ 川村鐵工所

当地域は旧町名を鍛冶町と言い、江戸期には鍛冶屋さんが多く見られました。現在はこの川村鐵工所ほか数軒が残るのみ。向かいには金神様を祀る金神社が鎮座しています。

③⑨ 高堂家住宅

万延元年(1860)創業の酒店。主屋・文庫蔵・米蔵は明治期の建築。現在、「秋田鼻貞」として、秋田に根差し、活動する作り手の作品をラインナップしています。



④⑩ たかさごどう 高砂堂店舗



明治35年(1902)から現在地で営業している老舗の菓子店。ふわふわ「りんごもち」は絶品。大正7年(1918)建築。大正時代の風潮を反映する和洋折衷の貴重な建物です。店内にある秤をモチーフにした時計は必見！通町通り拡幅時に9m曳き屋した跡が腰壁に残っています。
国登録有形文化財。秋田駅から徒歩約14分。

④⑪ 武家屋敷

藩政期に建てられたと考えられる建物です。細い路地に建ち、近世の武家町を今に伝えます。



④⑫ あきたせいすくいぬし 秋田聖救主教会聖堂

昭和5年(1930)建築。意匠的に洗練かつ優れた近代建築。聖堂内の天井にはおしゃれな照明、窓にはステンドグラスが。聖壇には「イエスキリスト」の文字が隠されている…？
市指定有形文化財。秋田駅から徒歩約20分。



19 川村鐵工所

当地域は旧町名を鍛冶町と言い、江戸期には鍛冶屋さんが多く見られました。現在はこの川村鐵工所ほか数軒が残るのみ。向かいには金神様を祀る金神社が鎮座しています。

39 高堂家住宅

万延元年(1860)創業の酒店。主屋・文庫蔵・米蔵は明治期の建築。現在、「秋田轟眞」として、秋田に根差し、活動する作り手の作品をラインナップしています。



40 高砂堂店舗

たかさごどう



明治35年(1902)から現在地で営業している老舗の菓子店。ふわふわ「りんごもち」は絶品。大正7年(1918)建築。大正時代の風潮を反映する和洋折衷の貴重な建物です。店内にある秤をモチーフにした時計は必見! 通町通り拡幅時に9m曳き屋した跡が腰壁に残っています。

国登録有形文化財。秋田駅から徒歩約14分。

41 武家屋敷

藩政期に建てられたと考えられる建物です。細い路地に建ち、近世の武家町を今に伝えます。



42 秋田聖救主教会聖堂

あきたせいすくいぬし

昭和5年(1930)建築。意匠的に洗練かつ優れた近代建築。聖堂内の天井にはおしゃれな照明、窓にはステンドグラスが。聖壇には「イエスキリスト」の文字が隠されている…。市指定有形文化財。秋田駅から徒歩約20分。



があった場所。那波家の代目当主・那波祐生が江戸時代の文政12年(1829)におこしました。今で言うNPO(民間非営利組織)のさきがけ。碑の形は佐竹家裏紋で、源氏香の中でも花散里のデザイン。



※解説文についている番号は、マップ表面のイラストについている番号に対応しています。

番号の位置(マップ表面)



秋田チケットで賢くおトクに!

安心 買い取り!!

山王店

秋田市役所裏

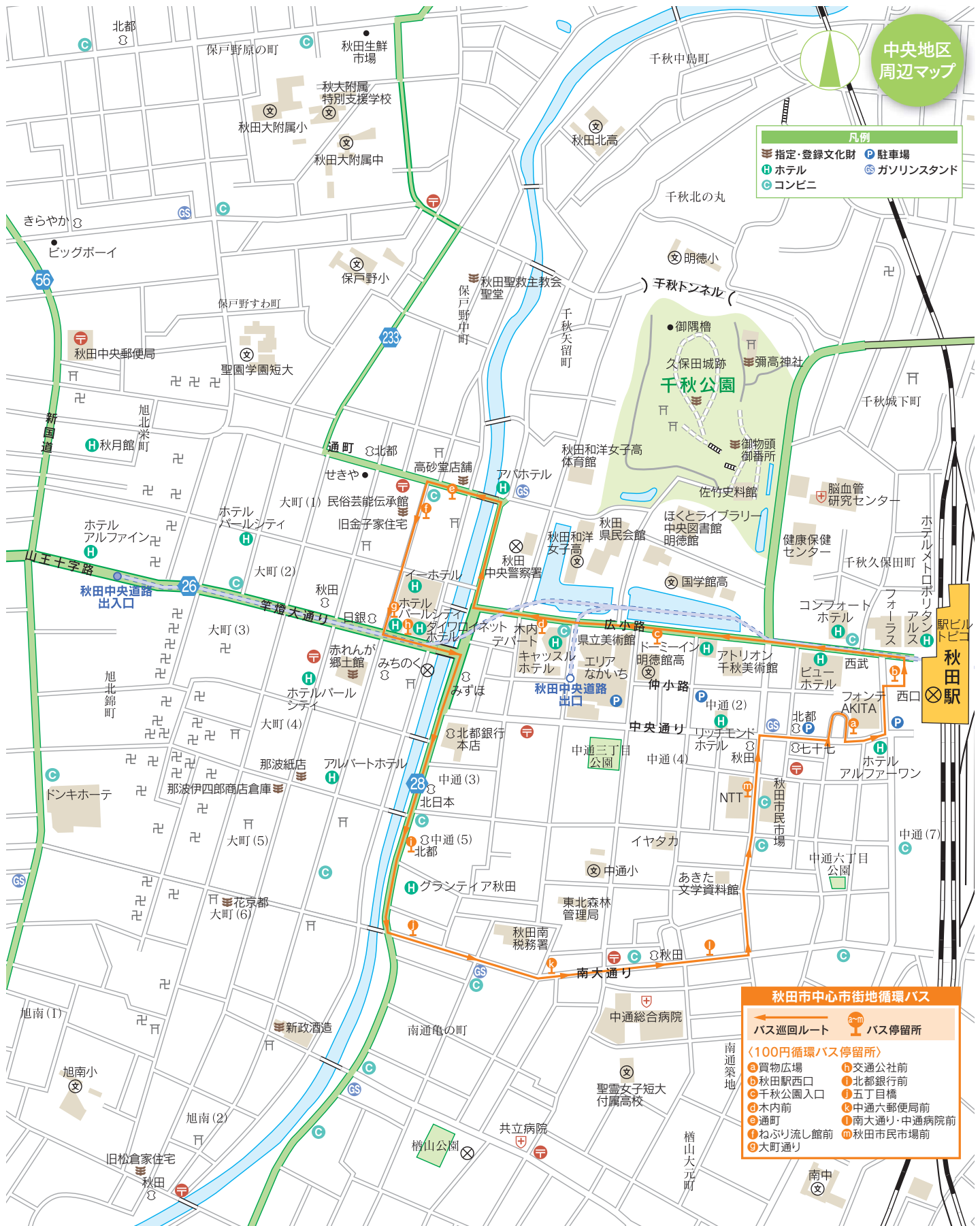
秋田駅前店

広小路西武秋田店となり

アルヴェ店

拠点センターアルヴェ1F

☎018-823-5959 ☎018-831-8500 ☎018-837-6116



中央地区
周辺マップ

- 凡例
- 指定・登録文化財
 - ホテル
 - コンビニ
 - 駐車場
 - ガソリンスタンド

- 秋田市中心市街地循環バス**
- バス巡回ルート a-m バス停留所
- <100円循環バス停留所>**
- a 買物広場
 - b 秋田駅西口
 - c 千秋公園入口
 - d 木内前
 - e 通町
 - f ねぶり流し館前
 - g 大通り
 - h 交通公社前
 - i 北都銀行前
 - j 五丁目橋
 - k 中通六郵便局前
 - l 南大通り・中通病院前
 - m 秋田市民市場前